

近年平岡地区では、北側にマンション群、南側に新しい戸建が立ち並び、若い子育て世帯が増えました。

「きよたとんとん冬まつり」を終えて  
清田区保健福祉サービス課子育て支援担当 筒井 優子



会場設営に頑張る真栄高のボランティア

この冬まつりを設定するのは私たちですが、主役はボランティアや地域の方々を含めた参加者全員です。

内容も、できるだけ身近な素材を利用して、あそびのコーナーを担当するスタッフとのやりとりが楽しめるものを設定しています。

本当に感謝しています。子どもたちにとって、自分と一緒にになって身体を動かし遊んでくれた大人の存在は、きっと作った雪像とともに残ったことだと思います。



大人気！「ぱっくん！バーバパパ」のコーナー

「きよたとんとん冬まつり」を終えて  
「子育て」活動と「まちづくり」  
ながい目で見て、「地域の教育力」の強弱が「まちづくり」の将来を担う重要な課題であることは、だれもが感じているところです。さて、学校はさることながら、「人を育てる」いや人を育てている個人や組織も地域には結構あります。どちらかというと、小規模であり関係者の智恵と労力とやさしい心に応援されている場合が少なくありません。この度ご紹介する『とんとんの部屋』は、清田区役所3階保健福祉サービス課です。冬の行事を紹介して戴きました。



平岡地区町内会連合会  
清田区平岡7条3丁目9-25  
平岡地区会館内  
☎ 883-7100  
発行責任者 大橋 良一  
編集責任者 渡辺綱太郎

りも、そんなきっかけを作の事業です。夏は平岡小学校にて開催する「平岡キッズまつり」（民児協主催）がありますので、冬は南側で楽しい催しをと、民児協の方々と相談して決めました。



みんなでそりすべり。リスさんも一緒にすべりました

本当に感謝しています。子どもたちにとって、自分と一緒にになって身体を動かし遊んでくれた大人の存在は、今後も地域の方々にアイデアをいただきながら、更にもう一步、地域に根ざした交流の機会となるよう努力していくたいと思っています。

でも、その家庭のほとんどは核家族。ひとりで子育てに悩んだり、閉じこもったりしないよう、気軽に訪れる遊び場があることや、見守ってくれる地域の方々の存在が益々重要になつてきています。

「きよたとんとん冬まつり」を終えて

# 大橋良一様の 自治振興功労者表彰の受賞を讃えて

平岡地区町内会連合会副会長  
受賞記念祝賀会

発起人代表 坂東夫佐子

## 役職

昭和60年4月 南平岡町内会 会長  
平成7年5月 クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会 会長  
平成7年12月 平岡地区民生委員児童委員協議会 委員  
平成13年6月 平岡地区町内会連合会 会長  
平成13年6月 平岡地区社会福祉協議会 会長  
平成13年7月 平岡地区児童生徒事故防止合同対策協議会 会長  
平成14年6月 清田区町内会連合会連絡協議会 会長  
平成15年8月 札幌方面豊平警察署協議会 会長  
平成17年8月 社団法人全国地区衛生組織連合会 生活環境委員

## 表彰

平成7年9月 北海道衛生協会会长 功労者表彰  
平成8年11月 札幌市長貢献者表彰  
平成14年2月 札幌市長永年クリーンさっぽろ活動功績表彰  
平成14年7月 札幌市地域緑化貢献 感謝状  
平成17年11月 札幌市自治振興功労者表彰

この度は、大橋良一様が長年にわたる地域の自治振興活動に励まれそのご苦労が実り、札幌市自治振興功労者表彰を受賞なされました。私はここに、同じ地域の自治活動の労をともにする一人として、心より祝意を申し上げます。

既に、ご存じの方もおられると思いますが、大橋様は二十五年を越える長きにわたって、地域住民活動に携わり住民の融和と社会福祉の増進、生活圏の衛生、美化、防犯・防災及び交通安全の推進、青少年の健全育成等とさまざまな分野で地域の発展に必要不可欠な事業を積極的に推進し、献身的なご努力を重ねてこられました。

本当に頭の下がる思いでいっぱいです。その活動の成果が、地域の自治振興に大きな貢献と高く評価され、自治振興功労者として札幌市長から表彰されるという栄誉に輝きました。

このことは、ご本人はもとより私ども平岡地区に住む者にとりましても、極めて喜ばしいことでござりますと同時に、この長い間のご尽力に対しまして、深い敬意と感謝を申し上げます。

社会は常に、次のステップを求めて進んでいきます。この度の受賞を契機に、更に心身ともに豊かな活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

この度は、本当におめでとうございます。



左上田市長、右から三人目が大橋会長

## 銀行ロビーで手作り作品展

わかば会会長 中鉢 彰

平岡わかば会(平岡地区「老連協」傘下)



色鮮やかな作品群

昨年十二月十二日より二月十日まで、わかば会手芸サークルの会員が、日頃手作り手下芸品の展示を札幌銀行平岡支店ロビーで行いました。この展示会は、毎年十二月中旬に同行ロビーで行われており、期間中は来店する皆さんの目を楽しませております。バブルが落ち込み景気が悪くなつて以来、なんとか明るい話題をと銀行からのお説もあり、わかば会が協力しようと始めました。会員たちが、丹精込めて作つた色鮮やかな造花などが、押し迫る暮れの忙しい時期に来店者の気持ちを少しでも和らぐことができたら……と考え、毎年頑張つて作品展示を続けています。

この度の受賞を契機に、更に心身ともに豊かな活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

この度は、本当におめでとうございます。

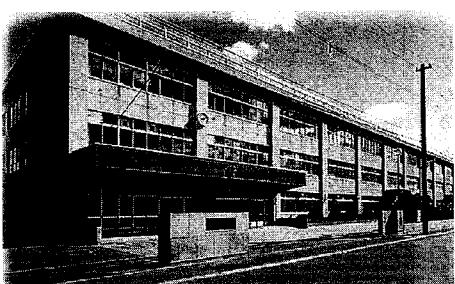
# 学校を訪ねて

...シリーズ②

札幌市立平岡小学校（赤坂龍志校長）は、現在十三学級（特殊学級二学級を含む）児童数三百二名と、この平岡地区では一番児童数の少ない学校です。開校は、昭和六十年三月。平成元年頃は、児童数が千人を越えるマンモス校でした。

昨年度は、開校二十周年にあたり、記念式典などの記念行事が行われ、「郷土誌ひらおか」も出版されました。

今回は、この平岡小学校の特色ある教育活動についてご紹介します。



札幌市立平岡小学校

平岡小学校にビオトープがあるのを、皆さんはご存知ですか。

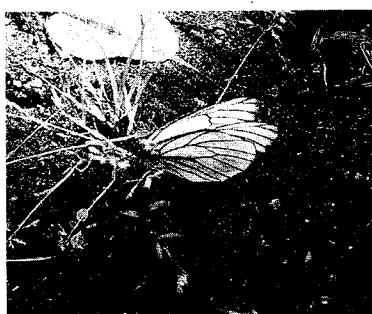
ピオトーブつてなあに…?

「**普**」とは「地域の野生の生き物がくらす場所」という意味だそうです。



## 完成間もないビオトープ

の時間」や理科などの学習の時間に活用しています。このビオトープには様々な生き物がやつてきます。例えば左の写真はなんだかわかりますか。これは、工



## 水辺にやってきたチョウ

## ホタルの幼虫を飼育

ゾスジグロシロチョウです。  
また、夏場には、オニヤ  
ンマの抜け殻も見られまし  
た。そのほか、アメンボ等  
の昆虫や、スズメ、ハクセ  
キレイなどの鳥たちも水浴  
びや砂浴びにやってきます。



### えさを与える飼育委員

二ナという貝を食べて成長します。カワニナは、別の水槽でキヤベツをえさに育て、そのカワニナを小さくつぶして、二・三日おきにホタルの幼虫に与えます。



清田ホタルの会より幼虫をもらう

ビオトープの改修工事

聞かれました。でもビオトープの水は、水道水を使っていることや幼虫が羽化できるほどの環境が、まだ整つていませんでした。

ところが、平成十六年あるNPO法人の援助によりビオトープの改修計画がもちあがり、平成十七年の春には、それを実現することができました。

① 井戸を掘り、その地下水をビオトープに流す。

②地下水は、年間を通して水温が一定だが、水温は低いので温めるためのため池を造る。

③幼虫が上陸してさなぎをつくるための小島を造る



清田区長さんも参加して放流式

この年の夏休みには、三回のホタル観賞会が行われ延べ百二十人ほどの方々が訪れました。淡い光を放ちながら飛び交うホタルを初めて見る子供たち。目を輝かせて見入っていました。

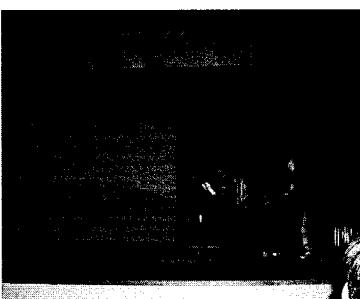
## ホタル鑑賞会が実現

虫が放流されました。

④ホタルの観賞用ハウスを造る。

等の整備が行われました。

この整備には、「清田ホタルの会」、ビオトープ管理士長谷川哲也さん、「ビオトープを守る会」など、多くの地域の方々のご支援をいただき実現しました。



こども環境フェスティバル



ホタルの幼虫を放流する子供たち

**飼育委員会の代表が「こども環境フェスティバル」で発表**

平成十八年二月十一日、エルプラザホールで行われた「こども環境フェスティバル」において飼育委員の代表四人が、「平岡のビオトープとホタルの飼育について」という題で発表しました。

「このビオトープでホタルの幼虫を育て、羽化させ、産卵させる。そんなホタルの一生が観察できるビオトープになつてほしい。」と語る飼育委員の六年生が印象的でした。

会場には、多くの札幌市内の子供たちが集まり、また、上田文雄札幌市長も参加し、環境に関する様々な活動の交流が行われました。

①びっくりシンフォニー  
②小さな世界  
③八十日間世界一周  
④ホールニューワールド「アラジン」のテーマ  
の四曲です。

演奏したのは、五年生の八名で、会場いっぱいに天使の音色を響かせ、会場の皆さんからおほめの拍手をいただきました。

平成十年からは、これまでハンドベルを指導されていました。先生の転勤を機に、札幌国際大学の林昌子先生に、月に二回程度、ボランティアの形でハンドベル同好会を行いました。

平成十八年二月十一日、共済ホールで行われた札幌国際大学ハンドベルクワイアの定期演奏会に、平岡小学校ハンドベル同好会がゲスト出演し、ハンドベルとトーンチャイムを使って演奏しました。

曲名は、

①びっくりシンフォニー

②小さな世界

③八十日間世界一周

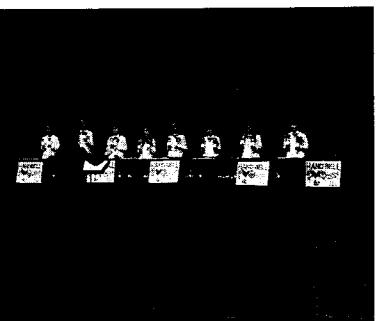
④ホールニューワールド「アラジン」のテーマ

の四曲です。

演奏したのは、五年生の八名で、会場いっぱいに天使の音色を響かせ、会場の皆さんからおほめの拍手をもらいました。先生の転勤を機に、札幌国際大学の林昌子先生に、月に二回程度、ボランティアの形でハンドベル同好会を行いました。

トーンチャイムが始まりました。その後などが補充され、演奏の幅も広がりました。

発足当時の同好会の指導に当たつた佐々木洋一先生（現大谷地小学校）のお話によりますと、「七夕コンサート」「コミュニケーション博覧会」「交通安全運動の全体会」など、地域へ出かけて行つての演奏も行わされたそうです。また、H



2月11日共済ホールでの演奏会

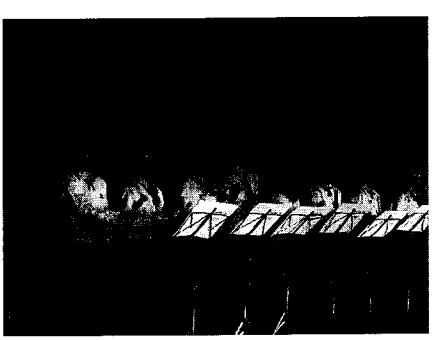
## 平岡小学校ハンドベル同好会の紹介

平岡小学校のハンドベル同好会は、平成元年六月に結成され、今年で十八年目になります。発足当時、スクールバンドの一環として、四オクターブのハンドベル、テーブル、マットレスなどを札幌市より支給され、活動が始まりました。その後

の指導をいただいています。その縁で、毎年札幌国際大学ハンドベルクワイア定期演奏会で演奏する機会をえていただいています。昨年は、学習発表会だけではなく、北海道ハンドベルフェスティバルや平岡児童会館のクリスマスカーニバルなどでも演奏しました。



クリスマス曲を演奏（平岡児童会館）



トーンチャイムで演奏（学習発表会）

（文責 安井敏彦）

## 地域とかかわった 総合的な学習の 時間のとりくみ

「総合的な学習の時間」というのは、子供たちが「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断しながら問題を解決する能力を育てる」とねらいとして「三年生以上の学年で取り組まれている教育活動です。各学校では、子供たちの興味や関心に基づき、また地域や学校の特色に応じて創意工夫をこらした活動を行っています。

心つなげて  
～北野病院訪問  
を通して～

北野病院のご協力もあり、病院に入院している患者さんと交流をさせていただく機会を得ることができました。最初の訪問では、病院



子供たちの踊りに拍手

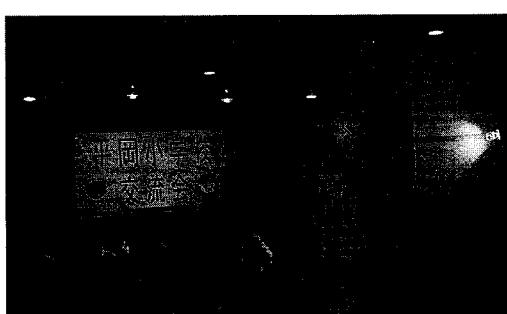


よさこいを踊る子供たち

の駐車場でよさこいを踊り、患者さんに見ていただきました。

初めは、何のために病院を訪問するのか、半信半疑だった子供たちでしたが、自分たちの踊りをにこにこしながら見てくれるお年寄りの姿、大きな拍手をくれる患者さんたちの姿に、心を動かされ、「患者さんたちがもっと喜んでくれること、勇気を与えることで自分たちにできることは他に

いたしました。子供たちにとって、自分たちで人のために何かできるんだということを知り、また人と人が心をつなげて生きていくことの大切さを実感できた貴重な経験になりました。



患者さんの話に耳を傾ける子供たち

ないのだろうか。」を考えるようになつていきました。

その後、二回の訪問では、患者さんのために病院が定期的に行っているレクリエーションタイムにおじやまをして、歌を歌ったりお話をするなどの交流をさせていただきました。

子供たちにとって、地域とのつながり、人とのつながりを通して、自分たちで人のために何かできるんだということを知り、また人と人が心をつなげて生きていくことの大切さを実感できた貴重な経験になりました。

数年前より「ジャスコ平岡店」のご協力のもと、実施しているのが『お仕事ウルルン体験記』と名づけられた職業体験学習です。子供たちがもつ「働く」ということについてのイメージは漠然としたものです。

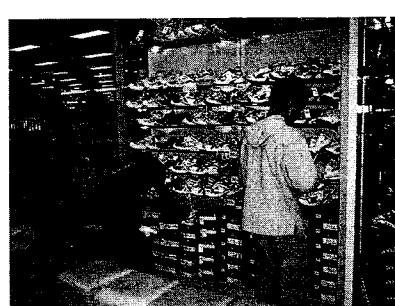


婦人服売り場で…

実際の体験を通して、働くことの大変さや大切さを実感されることから、働くことに対する見方や考え方を変え、今後の自分の生き方について改めて考えるきっかけになればといふねらいによって取り組まれる活動です。

子供たちは、初めに係の

方から接客の心がまえや挨拶の仕方、さらに基本姿勢などを学んだ後、数人ずつに分かれてそれぞれの売り場へ向かいました。



商品の陳列も大事な仕事

売り場では、棚に並ぶ商品の整理をしたり、また普段は入ることができない裏の商品置き場から物を運んだりするなど、スタッフの一員として、与えられた仕事をこなしていました。

本物の店員と同様の使命と責任をもたされ売り場に立つことで、今まで抱いていた「働く」というイメージを広げたり深めたりすることができました。また、大人たちの仕事に対する真剣さや仕事に対する「誇り」や「やりがい」をもつことの大切さを感じることができました。

## 大正琴との出逢い

琴伝流師範 大向 悅子



施設訪問のひととき



例会日の練習風景

人生において良き出逢いがあるとしたら私にとつて、大正琴との出逢いは、その後の人生を豊かにするほどできごとでした。

十数年前、何か楽しめる趣味をと母と共に大正琴サークルへ入会、根っからの

音楽好き、皆で奏でる充実感と楽しさは何ものにも代えがたいほどの喜びと、魅力を与えてくれました。

そして六年前、平岡地区会館に大正琴サークル結成現在に至っています。

高校生から八十年代の生徒達と各施設でのボランティ

ア、地域の行事への参加、琴伝流大正琴恵翔会員として全国大会、全道大会などの出演と幅広く活動しております。

大正琴は夢と和を与える楽器です。私にとつて導き育ててくれる良き師、助け

あえる仲間、愛すべき生徒達は人生の宝物です。

微力ではありますが、生徒達と共に心にひびきメロディを奏でながら、この平岡の地に大正琴の輪を広げていきたいと心から願っています。

## 詩吟は心と身を健康にします

詩吟サークル平岡 代表 筒井 裕子



い呼吸を伴いながら大きな声を出すので想像以上のス

詩吟サークル錦静平岡会が平岡地区会館に発足したのは平成九年で、毎週金曜日の十時から十二時まで、中橋錦静先生の親切丁寧な御指導のもと楽しく練習に励んでいます。

サークルに入ることになった動機は、声を出すのが好きだからとか、健康に良さそうだからとか人それぞれですが、入会してから詩吟の深い魅力を知ることになります。腹筋を使い、深



区民文化祭のステージ発表

トレス解消になり、終了後はとても爽快な気分になります。また嬉しいことに正しいアクセントと美しい発音が同時に身に付いてきます。

発表会にはグループでま

た個人で出場したり、仲間と懇親を深める楽しみもあります。詩吟に興味の有る無しに係わらず一度見学に来て下さい。飴とお茶で喉を潤しながら、一緒に楽ししく声を出しましよう。



例会日の練習風景

## 冬期・春仕活動で鍛える

天災・人災を問わず、発災時にいかに被害・犠牲を少なく出来るかは、日頃の心構えと素早い対応行動がとれるか……が結果に大きく影響します。厳冬期に鍛える、平岡地区少年消防クラブを訪ねました。

### 子どものうちから

### 『防火・防災』意識を育てよう

平岡地区少年消防クラブ（指導部）副部長 彦素 幸夫

平岡少年消防クラブでは去る2月4日（土）今年もクラブ活動の一環として、「平岡まちづくりセンター」前に防火の願いを込めて、清田消防署の指導の下「消火栓だるま」を二基作成しました。当日はあいにくの吹雪模

様となつたので、吹雪の合間を見て、「まちづくりセンター付近の雪で埋まつた消火栓を雪の中から掘り出す作業も行いました。クラブ員は消火栓の除雪をすることにより、日頃からの備えの重要さを学習しました。



消火栓の大切さを実感する時



吹雪について目的達成の笑顔

聞けば、二月の初旬から始めた剪定作業は今日（三月十日）が最後の仕事だそうです。  
よく見ると、芽は桜に比べると形は小さいが、ふくらみ丸味をおび、すでに春を感じているのがわかりました。

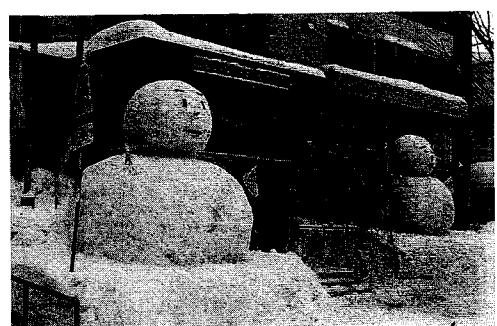


三月十日の剪定作業

町内の皆さんも近くの消火栓に注意を向けていただきたいと思います。

平岡少年消防クラブではこの様に日頃から防火・防災意識を高める学習を行っています。  
4月より4年生の小学生と一緒にクラブ活動しませんか。

【連絡先】  
881-2656 坂東部長



完成した消防雪だるま

三月の午後、長靴で公園の第2駐車場の入口を通ると、すぐ左の下方からパンパチンと弾んだ音が聞こえる。

「枝切りですか…？」  
近づいて

### 春を探して

### 梅の剪定作業

### 平岡公園の

## 平岡高校の「書」

清楚な廊下の壁に  
はとばしる

力強い筆跡

平岡高校書道部顧問  
長澤 正美



文字をこえて迫る筆の迫力

います。そして、生徒の書道作品の展示も校内美化の一助となつていると自負しています。

## 伝統を築いた書道部

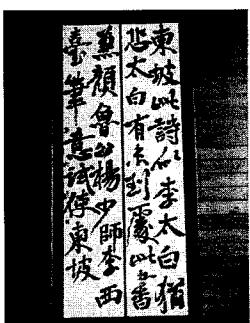
その一つは、書道選択生徒約二百数十名による「校内展覧会」です。選ばれた作品約二十点が、卒業式・入学式に展示されます。

この「校内展覧会」のレベルを高めているものに、校外の展覧会への参加活動があります。北海道新聞社主催「学生書道展」、毎日新聞社主催の「学校書道展」、読売新聞社主催の「全国競書大会」などです。

それぞれの展覧会で平岡高校は、個人・団体とも過分な評価を戴いています。

「平岡高校の印象は?」と聞くと、本校を訪問された殆どの方は、外観だけでなく内部の施設・廊下を含めて「美しい校舎ですね」と答えられます。さらに、それが二十年近く経ていると聞いて、改めて驚かれる方も少なくありません。

開校以来、校舎の施設の美化に気をかけ、その維持に努力してきた結果が、今評価に繋がっていると思



全国大会北海道代表作品

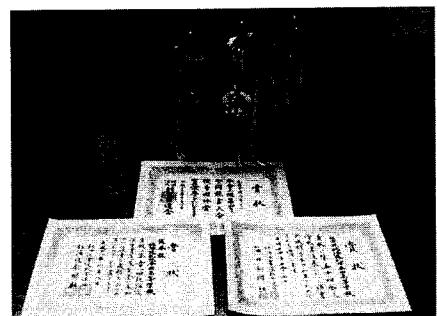
道展においても「表彰校」を七年連続、「全国競書大会」でも団体表彰を連続して戴いております。

校内の各階に展示されています大きな書道作品は、書道部の生徒によるものです。本校の書道部は、石狩支部大会で選抜され、毎年全道大会に参加していますし、ここ数年で二度全国大会に北海道代表として参加させて戴いています。

本校には書道ばかりではなく、美術部の作品、写真部の作品などが各階に展示されています。ご来校の折には、是非、各階にあります生徒の作品をご観賞してみてください。



今は通れない梅の香橋



受賞した彰の一部

## 通行止めの梅の香橋

林の木の枝に積もつてた雪もすっかり無くなり、湿地の流れも少し元気になつたよう聞こえる。

久しぶりに橋の前まで行つたら、ロープが張つてあり「通行止め」の札がさがつっていた。

久しぶりに橋の前まで行つたら、ロープが張つてあり「通行止め」の札がさがつっていた。

見ると、橋には濡れた重道展においても「表彰校」を七年連続、「全国競書大会」でも団体表彰を連続して戴いております。

校内の各階に展示されています大きな書道作品は、書道部の生徒によるものです。本校の書道部は、石狩支部大会で選抜され、毎年全道大会に参加していますし、ここ数年で二度全国大会に北海道代表として参加させて戴いています。

本校には書道ばかりではなく、美術部の作品、写真部の作品などが各階に展示されています。ご来校の折には、是非、各階にあります生徒の作品をご観賞してみてください。

**あ**  
**と**  
**が**  
**き**

五年ほど前、「ミレニアム」を繰り返し、二〇〇一年をまえに二十一世紀への期待は大きく膨らみ、平和でありたい、環境の保全に力を尽くそう……だれもが期待に胸を熱くしました。

しかし、いつの間にか大河の流れの中に埋もれ「ミレニアム」意識の重みは衰弱してしまったような気がします。トリノ五輪も、若手ホープへの期待は大きかつたが、結果（入賞は別として）は、荒川選手のゴールドメダルとイナバウワーだった。夢や期待は、それを抱くだけで心が弾み、心身にあらたな力が創出されたり大きなエネルギー源にもなる貴重な機会でもあります。

しかし、そうした華やかなもう一方に、それとは対照的に、毎日あたりまえのように営まれている「子育て」や児童生徒の「学校生活」があります。毎日同じことの繰り返しのように見える活動の中には、人と交わりながら地域を知り社会を学び次代を担うに必要な体や学力をしっかりと鍛え合つて生き生きとした毎日があります。

このように、他の地域では代替えできない地域の未来を担保する児童・生徒の育ち、遊び合う様子を大事にしたいと思っています。